

第1号議案

2017年度のまとめと2018年度のすすめかた

《2018年度スローガン》

事業を通じた社会貢献をひろげ、 地域共生社会^①づくりにチャレンジ！

はじめに

平和をめぐる情勢では、昨年、国連で核兵器禁止条約が採択され、国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」（ICAN）がノーベル平和賞を受賞するなど、核兵器廃絶に向けた大きな前進がありました。一方、日本では憲法改定をめぐる動きが強まっています。日本は憲法9条があったからこそ、戦後70年以上にわたり、人を殺し殺される戦争に参加しなかったと言えます。姫路医療生協は人類の課題として、これからも平和を守り、核兵器廃絶に向けた努力を続けます。

2017年度は、法人理念「その人らしく、気持ちよく生きる」のもと、“個人の尊厳”と“生活の質の向上”を大切に事業経営と地域活動をひろげました。「誰もが、住み慣れた地域で“その人らしく、気持ちよく生きる”ことができるまちづくり」ー地域包括ケア^②を推進しました。そして、新たに地域共生社会づくりの取り組みに着手しました。今後は、超高齢社会を見据え、「すべての地域住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく暮らすことができる社会」ー地域共生社会を展望した取り組みが求められています。

私たちは、事業を通じた社会貢献をひろげ、格差・貧困などの諸問題と超高齢社会“2025年問題”に対応し、未来を切り開きます。事業と活動をさらにひろげ、地域共生社会づくりをめざします。

姫路医療生協の姫路市内における 介護サービスのシェア（件数）

	2016年度実績	2015年度実績
□定期巡回・随時対応サービス	100.0%	100.0%
□小規模多機能ホーム	32.7%	33.0%
□訪問入浴	31.9%	28.5%
□訪問看護	21.1%	21.5%
□訪問介護	11.4%	11.5%
□ケアプラン	11.3%	11.6%
□福祉用具レンタル	8.6%	8.7%
□通所リハビリ	7.9%	8.9%
□通所介護	6.4%	5.5%



大津茂支部の『笑う会』

1) 2017年度のまとめ

1. 利用者を中心にした介護と医療の一体化したサービスの提供をめざします

①地域包括ケアとICF（国際生活機能分類）^⑤の実践をすすめました

- 姫路医療生協版「地域ケア会議^④」を定例開催し、多職種協働を推進しました。
- 職員が行政や職能団体の役を積極的に受け、連携会議等に参画し、行政や他団体との“顔の見える関係づくり”を推進しました。
- 介護人材確保（姫路市）や地域密着型サービス（太子町）をテーマにした懇談をおこない、行政との連携を強めました。

②2017年度も積極的な新規事業を展開しました

- 2017年4月 定期巡回・随時対応サービス^⑤あぼし開設
- 6月 小規模多機能ホーム香寺開設
- 9月 姫路市から総合事業^⑥訪問生活援助の指定



小規模多機能ホーム香寺（2017年6月開設）

- 「香寺」つくる会、「野里」つくる会を立ち上げ、組合員と職員が協同して地域訪問に取り組みました。

③経営活動は3つの柱（コンプライアンス・質の向上・利用者増）ですすすめました

- 介護事業部によるコンプライアンス活動を計画的に実施するとともに、訪問介護部門の経営改善をプロジェクトで推進しました。
- 2017年度決算は、事業収益46億8,508万円（予算比96.9%、前年比104.8%）、経常利益1億996万円（経常利益率2.3%、予算比65.9%、前年比96.3%）の到達となりました。

2. 健康づくり・助け合い活動をひろげ、地域コミュニティづくりに貢献します

①“楽しく、おいしく、オシャレ”な生協活動をすすめました

- 生協強化月間スタート企画、WHOウォーキングイベント、2018新春講演会、健康づくりフェア等、ニーズをふまえた楽しいイベントを開催しました。
- ブロックや支部、事業所主催の多彩なイベント、認知症カフェやサロン活動、介護者家族会等をすすめました。



手柄支部「心肺蘇生法(AED)学習会」

○健康づくりは、“あしたが大事！”（あ…歩く、し…しゃべる、た…食べる）を合言葉に、多彩にひろげました。健康チャレンジ（421名参加）、キッズチャレンジ（281名参加）に取り組みました。各イベントは、行政や他団体から後援をいただき、実施しました。

○第1回禁煙ポスターコンクールを開催し47点の応募がありました。医療福祉生協連のWHO 5.31世界禁煙ポスターコンクールで姫路医療生協からの応募ポスターが最優秀賞を獲得しました。

○仲間ふやしは631名（純増98名）、出資金ふやしは6,116万円（純増1,920万円）となりました。積立出資は月平均1,008件となりました。ニュースひめじ配布協力者は1,018名です。

②くらし・平和を守る活動をすすめました

○7月に憲法・平和学習会を開催し136名が参加しました。辺野古新基地建設反対連帯支援行動参加者による報告会を同時開催しました。

○原水爆禁止世界大会（長崎大会）に2名を代表派遣し、生協強化月間スタート企画で報告会を実施しました。「原発なくせ」の署名行動を継続しています。

○共謀罪法案反対や憲法9条守れ等の署名宣伝行動を実施しました。

○西播社保協による自治体キャラバンに参加し、5市6町を訪問しました。



増位支部のオレンジカフェ花北



兵庫県立姫路工業高校
1年 佐々木ちひろさんの作品

3. “地域包括ケアを担う人づくり”をすすめます

①「職員育成4つの視点」に基づき、職員研修をすすめました

○職員研修会は延べ633名が参加し、総代会方針・共謀罪・在宅看取りをテーマに多職種のグループワークを重視しました。

○管理者研修会、職責者研修会はMBO（目標によるマネジメント）をテーマに実施し、実践に活かしました。

○5月に学運交アンコールセッションin姫路を開催し、当生協の介護・医療事業の到達点を共有しました。

○新任管理者研修、安全運転研修会等を開催しました。

②創意工夫を凝らした人材確保と育成を推進しました



共立病院の夏まつり

- 共立歯科では常勤医師体制が2名から3名へと強化されました。
- 介護人材確保は、2017年度から新たに介護福祉士国家試験対策講座、介護事業所見学ツアー、総合事業訪問生活援助担い手養成研修を開始しました。介護学生向けのパンフレットを作成し活用しました。2018年度の新卒介護職員は5名採用しました。
- 引き続き、医師確保は今後の最重点課題です。
- ③組合員と職員がともに学び、協同をひろげました
 - 第19回介護・医療フォーラム（11月）は、社会学者の上野千鶴子氏をお迎えし、330名が超高齢社会への心構えと対応方法を学びました。
 - 非常勤理事の事業所訪問研修を実施しました。
 - 通信教育は、組合員32名、職員96名が受講しました。
- ④内部統制システム^㉗の推進をはかりました
 - 介護部門の副統括責任者の配置等、管理体制の強化をはかりました。
 - 全職員対象にストレスチェックを実施しました。
 - 介護事業所へのICT（情報通信技術）導入の検討をおこないました。
 - 法人の災害・防災マニュアルの作成と周知は今後の課題です。

2）2018年度のすすめかた

1. 地域包括ケアを推進し、介護と医療の一体化したサービスの提供をすすめます

- ①地域包括ケアとICF（国際生活機能分類）を実践によって考え方をひろげます
 - 全事業所が地域包括ケアの中で果たす役割を明確にします。
 - 「中重度利用者」「認知症ケア」「生活行為向上リハビリ」「在宅看取り」「口腔ケア」「栄養管理」の機能強化をはかります。
 - 行政や他団体との“顔の見える関係づくり”をさらに強化します。
 - 姫路医療生協版「地域ケア会議」を定期開催し、利用者中心の多職種協働をすすめます。自立支援と重度化防止を重視します。
- ②地域密着型サービスを重視し、在宅サービス事業の積極的な展開をはかります
 - 2018年4月からヘルスコープあぼし診療所の常勤医師2名体制を実現しました。訪問診療件数を大きく増やすことで、介護事業との相乗効果をはかります。
 - 2018年4月に小規模多機能ホーム野里、定期巡回・随時対応サービス北部を開設しました。小規模多機能ホームを転換し、看護小規模多機能^㉘の開設をめざします。



訪問診療する重成医師

- 太子町等、姫路市に隣接する市町での介護事業展開の検討をすすめます。
- 共立病院大改造の条件整備をすすめます。生協本部を拡充します。
- 障害福祉サービスの新たな展開を研究します。
- ③経営活動は3つの柱（利用者増・質の向上・コンプライアンス）ですすめます
 - 営業活動と広報活動を強化し、利用者増をはかります。
 - コンプライアンスを徹底し、各種加算をすべて取得することでサービスの質の向上につなげます。
 - 介護事業所へICT（情報通信技術）を導入し、情報共有の強化、業務の効率化、利用者増につなげます。
 - 事業収益は50億4,100万円（前年比107.6%）、経常利益は1億5,417万円（経常利益率3.1%）を実現します。
 - 内部統制システムを強化します。共立病院は病院機能評価を受審します。

2. 健康づくり、助け合い活動をひろげ、「くらしの安心ネットワーク」をひろげます

① “楽しく、おいしく、オシャレ” な地域活動をひろげます

- 健康づくりは、健康寿命を延ばすフレイル予防（虚弱予防）をひろげます。
- 新たに、手首で測定する骨密度チェックや足指力チェック、兵庫県生協連主催の「ひょうごまるごと健康チャレンジ2018」に取り組みます。
- ニーズに応えた楽しい班づくり、サークルづくりをすすめます。



西ブロック「簡単すこしお料理教室」

- ブロック・支部活動の活性化をはかり、つながりを生かして、担い手をひろげます。若い世代へのはたらきかけを強めます。
- 仲間ふやし1,030人、出資金ふやし3,000万円以上（純増1,500万円）、各事業所は組合員利用率のアップに取り組みます。
- ②地域に開かれた活動で“地域共生社会”づくりをめざします
 - 地域ニーズに応えた地域住民誰もが参加できる楽しいイベントを開催します。
 - 認知症になっても安心して暮らし続けられるまちづくりをすすめます。
 - くらしの助け合いの会はなちゃんの支援会員や各事業所ボランティアを増やします。
 - 事業利用委員会で「キラリハート[®]」、認知症カフェや介護者家族会等の居場所づくり、利用者増に取り組みます。
- ③くらし・平和活動をすすめます
 - 行政とは“対話型・提案型”で、ともに地域包括ケアを推進します。
 - 原水爆禁止世界大会への代表派遣や「大学学習会」等を企画します。

- 憲法9条を守る「3000万人署名」をすすめ、平和を守ります。社会保障の充実、原発ゼロ・自然エネルギーへの転換の声をひろげます。環境問題にとりくみます。
- 西播社保協の自治体キャラバンへ積極的に参画します。



憲法9条守れ署名宣伝行動（2018年1月）

3. “地域包括ケアを担う人づくり”をすすめます

①職員育成4つの視点の具体化・実践をすすめます

- 職員育成4つの視点ー（1）地域包括ケアとICFを学び実践できる、（2）多職種協働ができる、（3）利用者増に活かせるマネジメントができる、（4）主体的に地域活動に参加できる人づくりをすすめます。
- 全職員を対象にした計画的な職員研修を実施します。
- マネジメント研修を重視し、管理者・職責者・リーダーを計画的に育成します。PDCAサイクル（計画→実行→評価→改善）を重視したマネジメントをすすめます。



花田支部「バス旅行」

②創意工夫を凝らし、人材確保をすすめます

- 特に医師、介護福祉士、看護師の確保は必須の課題です。
- 処遇改善と職員のキャリアアップ、“安心して働き続けられる職場づくり”を推進します。



キッズチャレンジ学習会（2017年7月）

- 介護系学校への営業活動を強化します。多彩な取り組みをすすめ、介護人材確保・育成をすすめます。

- 担い手を増やし、総合事業への対応をすすめます。

③組合員と職員がともに学び、協同をひろげます

- 第20回介護・医療フォーラムの開催や通信教育等に取り組みます。
- 月刊誌「コムコム」「いつでも元気」を組合員・職員に普及します。
- ホームページやニュースひめじ、支部ニュース等による情報発信力を強化します。

《語句の解説》

① 地域共生社会

高齢者や障がい者、子ども、若者等、地域住民誰もが役割を持ち、支え合いながら自分らしく暮らすことができる社会

② 地域包括ケア

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり。医療、介護、生活支援・介護予防、住まいの切れ目のない一体的なサービスの提供をめざします

③ ICF（国際生活機能分類）

利用者一人ひとりの生活－心身機能（体の動き）、活動（生活）、参加（人生）の視点からアセスメント（評価）することを重視した考え方

④ 地域ケア会議

多職種の医療・介護専門職や地域住民等が参加して、事例を通して地域課題を明確にし、新たな社会資源の開発につなげる会議

⑤ 定期巡回・随時対応サービス

訪問介護と訪問看護、随時対応を組み合わせた24時間つながる安心サービス

⑥ 総合事業

各市町村が、地域包括ケアを推進するために介護予防や生活支援サービス等を整備する事業

⑦ 内部統制システム

業務全般の適正さが確保できる仕組みをつくり、その仕組みに基づいて運営すること

⑧ 看護小規模多機能

訪問・通い・泊りのサービスに加え、看護師による訪問を組み合わせた地域密着型の在宅サービス。医療的ケアや在宅看取りニーズに積極的にお応えします

⑨ キラリハート

利用者様に喜ばれたイチ押し事例を各事業所がまとめ、組合員・職員の確信にする取り組み

2018年度 各事業所の理念と重点課題

《姫路医療生協の理念》

その人らしく、気持ちよく生きる

共立病院

《理 念》利用者が満足できるより良いサービスを提供し、地域から信頼される病院をつくります

《重点課題》

- 現代の水準に見合ったサービスを地域住民へ提供するため、早期の病院建て替えを今後の最重点課題として位置づけます。
- 地域住民の在宅生活を支える病院として、地域包括ケア病床の機能を医療活動の中心に位置づけます。
- 職業人としてあるべきふるまいを常に心がけ、すべての関係者が満足できるような職員の接遇対応を実現します。
- 地域の医療機関や介護事業所との連携をさらに向上させます。

ヘルスコープあぼし診療所

《理 念》安心・安全の介護・医療連携で、利用者様へ満足度の高いサービスを提供します
《重点課題》

- 住み慣れた地域で、患者様の思いに沿い、医療・介護が連携したサービスを提供します。訪問診療を積極的に推進します。
- 網干「地域包括ケア」を推進し、終末期の医療・介護にかかわります。ケアマネ、訪問看護師、医師、診療所看護師が連携し、チーム医療・介護で終末期に対応します。他の医療機関とも連携し、新たな患者様のご要望にお応えします。
- かかりつけ医機能を強化し、患者様・家族様に医療サービスを提供します。

共立歯科

《理 念》口は いのちの入り口 健康の入り口

～生涯口から食べる楽しみをサポートします～

《重点課題》

- 地域包括ケアシステムにおける歯科の役割を果たし、在宅歯科診療をひろげます。
- 地域の医療機関や介護事業所との連携を深め、口腔ケアの技術向上に努めます。
- 安心安全な治療を提供し、安定した経営を行います。
- すべての分野で選ばれる歯科を目指し、接遇の向上に努めます。

居宅介護支援事業所

《理 念》ふれ愛 ささえ愛 みとめ愛 とともに生きる

《重点課題》

- I C F の視点に基づいた自立支援・重度化予防に資する質の高い居宅介護支援を提供します。
- 生産性やイノベーションをもった質の高い新人育成やリーダーの育成に向けたプログラム作成に取り組みます。
- 診療報酬・介護報酬改定に対応した居宅介護支援のアクションプランの実現をめざします。

姫路市増位・広嶺地域包括支援センター

《理 念》地域で 共に支え合い 共に生きる

《重点課題》

- 地域で楽しみや生きがいを見出せるような『地域づくり』に取り組みます。
- 多世代でつながり、相互に役割を持ち、「支え手」「受け手」という関係を超えて支えあうような『地域づくり』に取り組みます。
- 『地域まるごと』の視点を持ち、『他人事から我が事に』への意識が醸成されるような『地域づくり』に取り組みます。
- 地域住民による支え合い、地域資源、公的支援をコーディネートし、切れ目のない支援を実現できるような『地域づくり』に取り組みます。

相談支援事業所てがら

《理 念》ともに寄り添い、一人ひとりの自立を支えます

《重点課題》

- 共生社会を担う事業所として社会資源を活用し他職種との連携をはかり、利用者の獲得を目指します。
- 多方面から利用者様のニーズに合う情報収集をおこない、質の高いトータルコーディネーターを目指します。
- 生協活動への理解と参加をすすめます。

訪問看護ステーション

《理 念》安心、安全 こころあたたまる看護を提供します。

《重点課題》

- 地域包括ケアを担うひとづくりをすすめ、介護と医療の一体化したサービスの提供や体制づくりをすすめます。
- 定期巡回・随時対応サービス、小規模多機能との連携につとめ、共に健全で安定した経営を行います。
- 在宅看取り体制を強化するにあたり、利用者本人の意思決定を基本に多職種協働を図ります。

- 認知症対応、ターミナルケア、難病、リハビリ、精神、小児と幅広い利用者・家族のご要望に応え満足して頂けるサービスを提供します。
- 生協活動や地域で推進される会議等に積極的参加し、地域のニーズの把握に努めます。

定期巡回・随時対応サービス

《理念》いつでもつながる安心

《重点課題》

- 地域共生社会の実現に向け、利用者様をはじめ、地域住民の方や居宅介護支援事業所に広く周知していただけるよう、丁寧な分かりやすい説明や対応に心掛け、営業活動をいたします。
- 一歩先ゆく事業運営に努め、社会貢献できるよう人材確保に工夫し、働きやすい職場づくり、若い職員育成に積極的に取り組みます。
- 安定した黒字経営ができるよう効率化を図り、利用者確保に努力いたします。

ヘルパーステーション

《理念》笑顔が見たい… そんな気持ちで優しい介護

《重点課題》

- 訪問介護サービスと総合事業サービスの一体化を図り多様なサービスを展開し、利用者様が在宅で気持ち良くすごせるよう努力いたします。
- ICFを共通言語化し、生活行為向上に繋がる支援に心掛け、自立した生活が送れるよう、また全員が質の高いサービス提供ができるようにします。
- コンプライアンスの徹底・内部統制システムをすすめ、安定した黒字経営に努めます。

福祉用具レンタル

《理念》個性ある住みよい暮らしの演出をお手伝いします

《重点課題》

- 福祉用具専門相談員に必要な知識や技術を身に付ける共に、利用者様に信頼してもらえる関係づくりに努めます。
- 在宅でその人らしい生活が継続できるように各事業所との連携をはかります。
- 生協活動に参加することでレンタル事業所を多くの方に知っていただき、地域包括ケアをすすめます。

訪問入浴サービス共立

《理念》安心・安全をモットーに体と心温まる訪問入浴をお届けします

《重点課題》

- 住み慣れた環境の中で、ニーズに寄り添った安心できる訪問入浴を提供します。
- 人材確保に積極的に努め、研修などの育成に参加できる職場環境を整えます。
- 介護保険だけでなく、福祉全般で幅広く利用者の状況にお応えできるように努めます。

○業務内容を見直し、効率を上げるとともにサービスの質の向上をはかります。

デイケア（通所リハビリ）

《理 念》一人ひとりを大切に その人らしさをサポートします

《重点課題》

- 生活行為向上リハビリを実践し、認知症への対応力向上を目指します。また、事業所内の訪問リハビリテーションも活用していきます。
- 地域包括ケアの一翼を担う事業所として、各サービス事業所との連携協働を強化します。
- 2018年度介護保険改定に対応し、経営の安定をはかります。

デイサービス

《理 念》人が出会い『笑い』が生まれる

《重点課題》

- 認知症ケアの充実で、加算算定を軌道に乗せます。
- 営業ツールの充実とスキルアップで、地域に選ばれる事業所をめざします。
- 2021年度改正に向け、預かり機能と中重度対応の継続、個別機能訓練Ⅰ・Ⅱのアウトカムの明確化を図ります。

ショートステイつどい

《理 念》人がつどい『笑顔』が生まれる

《重点課題》

- 「医療的ケアと認知症ケア」の強化に努めます。
- 「利用者の立場から考えるケア」を行える人づくりを進めます。
- 「働きやすい職場」と「質の高い組織」を作ります。

小規模多機能ホーム

《理 念》一人ひとりに寄り添う 地域に寄り添う

《重点課題》

- 利用者の尊厳を守り、地域の生活者として支えます。
- 健全な安定した事業所運営を行います。
- 人材育成に取り組み、プライドを持って活躍できる職場づくりに努めます。
- 地域コミュニティとして活動の場を広げます。

グループホームめが

《理 念》思いやりの心で、ひとりひとりの「生きる」を支えます

《重点課題》

- 利用者の尊厳が守られた認知症ケアを実践します。

- 地域とつながりを持ち暮らせるように支援します。
- 働きやすい環境づくり、人材確保と人材育成に努めます。

生協本部

《理 念》一人ひとりに、正確・迅速・思いやりのあるサービスを提供します

《重点課題》

- 人材を確保・育成し、事業の発展に貢献します。
- “安心して働ける事業所づくり”に貢献します。
- 健康づくり・認知症見守りサポート・助け合い活動をひろげ、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。
- ICTを活用し、法人の情報共有・発信を強化します。